

1. セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1 製品識別名

製品名	M-Line 450-20R Solder
化学物質名	混合物。
CAS 番号	混合物。
EINECS 番号	混合物。
REACH 登録番号	割り当てられていない。

1.2 化学品の推奨用途と使用上の制限

記載されている用途	PC38: 溶接・はんだ製品・融剤。
~に対して助言された用途	知られていない。

1.3 供給者の詳細

会社情報	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire RG24 8FW United Kingdom
電話	+44 (0) 1256 462131
F a x	+44 (0) 1256 471441
E メール(担当者)	mm.uk@vishaypg.com

1.4 緊急連絡用電話の番号

(00-1) 703-527-3887
CHEMTREC

2. セクション 2: 危険有害性の要約

2.1 物質または混合物の分類

2.1.1 欧州 CLP 規則 (No.1272/2008)

皮膚感作性 区分 1; H317

2.1.2 指令 67/548/EEC および規則(1999/45/EC

R43: 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。

2.2 表示要素

製品名 欧州 CLP 規則 (No.1272/2008) によれば

M-Line 450-20R Solder

危険性を表す絵文字



注意喚起語

警告

次を含有する:

Rosin

改訂: 1.1 日付: 07.05.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

危険有害性情報

H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

危険有害性情報

P261: ヒュームの吸入を避ける。

P272: 汚染された作業着は作業場から出してはならない。

P280: 保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。

P302+P352: 皮膚に触れた場合: 水でよく手を洗うこと。

P333+P313: 皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

P363: 再使用する前に汚染された衣類を洗濯する。

追加情報

なし。

2.3 他の危険有害性

なし。

3. セクション 3: 組成/成分情報

3.2 混合物

EC 分類 欧州 CLP 規則 (No.1272/2008)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	REACH登録番号	危険有害性情報
Tin	92- 98	7440-31-5	231-141-8	割り当てられていない。	分類されていない。
Antimony	< 10	7440-36-0	231-146-5	割り当てられていない。	分類されていない。
Rosin	1-3	8050-09-7	232-475-7	割り当てられていない。	皮膚感作性 区分 1; H317

H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

指令 67/548/EEC および規則(1999/45/EC)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	REACH登録番号	EC 分類 と リスク書句
Tin	92 - 98	7440-31-5	231-141-8	割り当てられていない。	分類されていない。
Antimony	< 10	7440-36-0	231-146-5	割り当てられていない。	分類されていない。
Rosin	1-3	8050-09-7	232-475-7	割り当てられていない。	R43

R43: 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。

4. セクション 4: 応急処置



4.1 応急処置の説明

吸入

吸い込んだ場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすいよう安静にするこ

皮膚接触	と。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受ける。体調に異変があった場合は、中毒センターまたは医師に連絡すること。
目の接触	皮膚に付着した場合：汚染された衣服を除去して、接触した部分をすべて大量の水で洗う。汚染された衣服は徹底的に洗濯する。皮膚が刺激された場合：医師の診断/手当てを受けること。
摂取	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激があらわれたり続く場合、医師の手当てを受けること。
4.2 最も重要な症状および作用（急性および遅発性）	飲み込んだ場合は、水で口をすすがせる。(但し、意識がある場合のみ)。無理に吐かせない。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受ける。
4.3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。はんだ付けの際のフラックスヒュ<€が粘膜および呼吸器系の炎症および損傷を引き起こすことがあります。はんだ付けの際に発生する煙にはアレルギーであるロジンが含まれ、肺の炎症および損傷を引き起こす可能性があります。
	症状によって処置する。やけどの場合、直ちに接触した皮膚部位を、冷水で出来る限り長時間冷やす。

5. セクション 5: 火災時の措置

5.1 消火剤	周辺の火災に適切な。
適切な消火剤	溶けた金属がある際には、火炎に対して水を使用しないでください。
不適切な消火剤	はんだ付け温度まで加熱するとフラックス中の溶剤が蒸発し、脂肪族アルデヒド、酸およびテルペンなどの熱分解物やロジンの飛沫が運ばれます。はんだが火炎中で熔融する際、複合はんだ中のフラックスが発火することがあります。炭素酸化物。
5.2 当該物質または混合物に起因する特別な危険性	消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。
5.3 消防士へのアドバイス	

6. セクション 6: 漏出時の措置

6.1 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置	適切な換気を確保する。必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8. 熔融したはんだは、冷却すると凝固し、かき集めることができます。はんだ付けの際は煙ヒュ<€の吸引を避けてください。ガスト<'を使って大きなものを切り分ける場合は、ヒュ<€を吸入しないよう注意してください。
6.2 環境的予防措置	環境に排出しないようにする。排水路、下水道または水路に入らないようにする。
6.3 封じ込めと清掃のための方法および資材	製品を冷却/固化させ、固体として除去すること。廃棄用の容器に移す。可能

- 6.4 他のセクションの参照先
 な限り、回収またはリサイクルすること。
 次の項を参照: 8, 13

7. セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

- 7.1 安全な取り扱いのための注意事項
 皮膚、眼および衣服との接触を避けること。はんだ付けの際は煙ヒュ<€の吸引を避けてください。ガスト<`を使って大きなものを切り分ける場合は、ヒュ<€を吸入しないよう注意してください。融解したとき: 水との接触を可能な限り避けること。適切な換気を確保する。必要な個人用保護具を使用する。
 次の項を参照: 8. 本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行なってはならない。休憩前及び作業後には手を洗うこと。
- 7.2 安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)
 保管温度 換気の良い場所で保管する。
 保管期間 常温の。
 混触危険物質 普通の状態で安定。
 硫黄の発生源から隔離して保管してください。次のものから離して保管する。
 強い。酸類。、アルカリ類。、塩素と強酸化物類。.
- 7.3 具体的最終用途
 PC38: 溶接・ はんだ製品・ 融剤.. 次の項を参照: 1.2

8. セクション 8: 暴露防止及び保護措置

- 8.1 管理指標
- 8.1.1 職業暴露限度 該当なし。.
- 8.1.2 生物学的限界値 確立されていない。
- 8.1.3 PNEC および DNEL 確立されていない。
- 8.2 暴露管理
- 8.2.1 適切な工学的管理 適切な換気を確保する。または適切な封じ込めを行うこと。職業暴露限度の規定に基づいて、空中濃度を管理しなければならない。
- 8.2.2 個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置 化学物質取り扱いのための一般的な衛生手段が適用できる。全ての接触を避けること。はんだ付けの際は煙ヒュ<€の吸引を避けてください。ガスト<`を使って大きなものを切り分ける場合は、ヒュ<€を吸入しないよう注意してください。休憩前及び作業後には手を洗うこと。作業着は分けて保管すること。汚染された衣服は徹底的に洗濯する。作業場所では飲食、喫煙を行なってはならない。

目/顔面の保護



皮膚の保護

融解したとき: ゴーグル。または 顔全体を保護する顔面保護具。.

手の保護: 不浸透性手袋を着用すること。使用する手袋の種類は、作業の内容



と時間および取り扱う物品の濃度/量に基づいて選択しなければならない。手袋素材の浸透時間：手袋メーカーの情報を参照。

体の保護: 長靴、白衣、前掛けまたはつなぎ服を含む不浸透性の防護衣を適宜着用して、皮膚に接触しないようにしてください。

呼吸器の保護



換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。開放系: 適切な呼吸用保護具を着用する。

熱の危険性

該当なし。

8.2.3 環境暴露コントロール

環境に排出しないようにする。

9. セクション 9: 物理的および化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性についての情報

外観	銀色。 - 灰色。 針金状の金属
におい	資料なし。
臭いの閾値	資料なし。
pH	資料なし。
融点/凝固点	資料なし。
初留点と沸騰範囲	資料なし。
引火点	該当なし。
蒸発速度	該当なし。
燃焼性 (固体、ガス)	非引火性。
上限/下限可燃性または爆発限界	該当なし。
蒸気圧	資料なし。
蒸気密度	資料なし。
相対密度	>1 (H ₂ O = 1)
溶解度	水に不溶。
分配係数: n-オクタノール/水	資料なし。
自然発火温度	資料なし。
分解温度	資料なし。
粘度	資料なし。
爆発性	非爆発性。
酸化性	非酸化性。

9.2 その他の情報

なし。 .

10. セクション 10: 安定性および反応性

10.1	反応性	普通の状態安定。
10.2	化学的安定性	普通の状態安定。
10.3	危険な反応の可能性	はんだが火炎中で溶融する際、複合はんだ中のフラックスが発火することがあります。塩素および酸化剤と激しく反応します。
10.4	避けるべき条件	融解したとき：水との接触を可能な限り避けること。
10.5	混触危険物質	次のものから離して保管する。強い。酸類、アルカリ類、塩素と強酸化物類。硫黄の発生源から隔離して保管してください。
10.6	危険有害性分解生成物	はんだ付け温度まで加熱するとフラックス中の溶剤が蒸発し、脂肪族アルデヒド、酸およびテルペンなどの熱分解物やロジンの飛沫が運ばれます。

11. セクション 11: 有害性情報

11.1	毒性に関する情報 (製剤/混合物中の物質)	
	急性毒性	
	摂取	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。
	吸入	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 5.0 mg/l。
	皮膚接触	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。
	皮膚腐食性/刺激性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
	呼吸器感作性又は皮膚感作性	皮膚感作性 区分 1: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
	生殖細胞変異原性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
	発がん性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
	生殖毒性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
	特定標的臓器への毒性 (単回暴露)	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
	特定標的臓器への毒性 (反復暴露)	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
	吸引性呼吸器有害性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
11.2	その他の情報	なし。

12. セクション 12: 環境影響情報

12.1	毒性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 推定 混合物。LC50 > 100 mg/l (魚類)
12.2	残留性および分解性	本品に含まれる有機物は生分解性である。
12.3	生物蓄積性	この製品は生物濃縮の可能性が低い。(針金状の金属)

改訂: 1.1 日付: 07.05.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

12.4	土壌中の移動度	製品は土壌中で移動性が低いと予想される。(針金状の金属)
12.5	PBT および vPvB 評価の結果	PBT または vPvB に分類されない
12.6	その他の有害な作用	知られていない。

13. セクション 13: 廃棄上の注意

13.1	廃棄物処理法	はんだは再生利用できます。内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。
13.2	追加情報	廃電気機器の廃棄は、廃電気電子機器指令 (WEEE 指令、2012/19/EU) に盾で行わなければなりません。

14. セクション 14: 輸送上の注意

		ADR/RID / IMDG / IATA
14.1	国連番号	運送時に危険物として分類されていない。
14.2	適切な船積み名	分類されていない。
14.3	輸送危険分類	分類されていない。
14.4	輸送危険分類	分類されていない。
14.5	環境に対する危険	海洋汚染物質として分類されていない。
14.6	使用者に対する特別な注意事項	次の項を参照: 2
14.7	MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送	該当なし。
14.8	追加情報	なし。

15. セクション 15: 適用法令

15.1	特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律	
15.1.1	EU 規制 SVHCs	なし。
15.1.2	国の規制 Wassergefahrdungsklasse(ドイツ)	水質危険クラス: 1
15.2	化学物質安全性評価	資料なし。

16. セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1-16.

参考文献: 既存の安全データシート (SDS), 調和した分類 Rosin (CAS# 8050-09-7) と既存の ECHA 登録 Rosin (CAS# 8050-09-7), Tin (CAS# 7440-31-5), と Antimony (CAS# 7440-36-0).

改訂: 1.1 日付: 07.05.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

物質または混合物の分類 欧州CLP規則 (No.1272/2008) によれば	分類手順
皮膚感作性 区分 1; H317	閾値計算

注釈

LTEL	長期暴露限界
STEL	短時間暴露限界
DNEL	求められた無影響量
PNEC	推定無影響濃度
PBT	PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性
vPvB	高難分解性、高生物蓄積性

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順で関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件 (法的なあるいはそうでない) はございません。Vishay Precision Group は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません (欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き)。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。

拡張安全性データシート(eSDS) の付録

利用可能な情報なし。